

公共交通不便地域対策における
モデル地区の取組み（需要予測アンケート調査の結果）等について

「新たな公共交通不便地域対策の導入」に向けた取組みについて、下記のとおり報告する。

記

1 砦モデル地区における定時定路線型コミュニティ交通の検討

(1) 需要予測アンケート調査結果

別紙1「令和2年度 コミュニティ交通の利用意向に関するアンケート調査」、及び別紙2「モデル地区需要予測アンケート結果」のとおり

(2) 収支分析

ワゴン車（運転手含む10人乗り）の乗車定員について、助手席を使用しない8名定員での収支分析を行った結果、収支率は34.5%であった。

	日利用者数 (人/日)	運行日数 (日)	年間利用者数 (人/年)	運賃収入 (円/年)
平日	89.4	196	17,522	3,854,840
土休日	70.3	65	4,570	1,005,400
合計		261	22,092	4,860,240

- ・収支率：運賃収入／運行経費（車両経費を除く）
- ・利用意向の設問における「運行後すぐ利用したい」の回答を予測のサンプルとして抽出
- ・運賃を220円、年間運行日数を261日（週5日運行：平日4日、土休日1日、祝日等を加味）で算出
- ・顕在化率（アンケート調査結果で得られた結果が実際に実現する可能性を表わす数値）10%で予測

(3) 実証運行について

①新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス感染症対策として、各自治体が運行するコミュニティ交通においては、乗車人数の制限をはじめ、様々な対応を試行している。

区内の新規感染者数等が依然として予断を許さない状況にある中、砦モデル地区における実証運行に際しても、利用者が安心して乗車できるよう、感染症対策の検討が必要な状況となっている。

②令和3年度の実証運行について

定員8名での運行を想定した場合、実証運行移行の基準として設定した収支率30%以上となる予測結果となったが、コロナ禍の対応策（乗車定員の制限）や、昨今の人件費高騰等を加味した収支を精査するとともに、今後の財政状況等も踏まえ、砧モデル地区の進め方を検討する。

2 民間事業者主体の取組み

(1) トヨタモビリティ東京株式会社によるトライアルの状況

総合生活支援サービスの一環として、オンデマンド交通等の移動支援サービスのトライアルを検討している。現時点での取組み状況は、トヨタモビリティ東京株式会社作成の参考資料「【喜多見・宇奈根地区】新たな生活サービス・地域交通トライアルについて（案）※」のとおり。

※地域公共交通会議（令和2年10月30日開催）における配布資料

(2) 今後の予定

令和2年11月18日	「世田谷区における包括連携に関する協定」の締結 ※同日午後、喜多見の店舗で移動支援サービストライアルに関する出発式を予定
19日～	移動支援サービスの無償トライアル開始

1 調査概要

(1) 調査対象者

運行ルート(案)沿線の番地に在住の18歳以上の区民3,000人(総人口:推計29,101人)
 ※18~64歳の人口:推計22,348人、65歳以上の人口:推計6,753人(令和2年7月現在)

(2) 調査対象者の抽出方法

以下の区分で住民基本台帳から無作為抽出

年齢	配布数	回収数	回収率
18~64歳の方	1,500票	484	32.3%
65歳以上の方	1,500票	638	42.5%
合計	3,000票	1,122	37.4%

(3) 調査内容

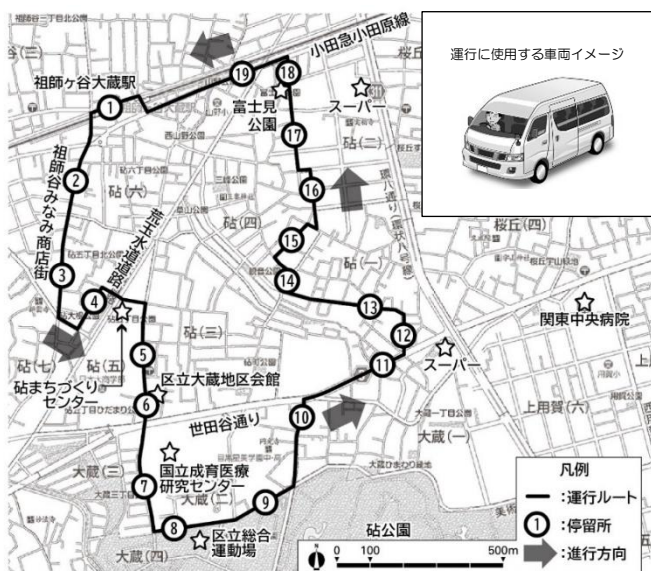
- ①個人属性等
- ②コミュニティ交通の利用意向(利用予定等)
- ③コミュニティ交通の運行による日常生活の変化
- ④コミュニティ交通の運行に対する考え
- ⑤公共交通(コミュニティ交通含む)に関する意見

2 回答者の属性

項目	18~64歳	65歳以上
性別	男性 35% 女性 64%	男性 40% 女性 59%
年代	30歳代 17% 40歳代 26% 50歳代 33%	65~69歳 21% 70歳代 49% 80歳以上 30%
世帯構成	親と子 69% 夫婦のみ 17% 一人暮らし 9%	夫婦のみ 44% 親と子 22% 一人暮らし 24%
未就学児	いる 10%	いる 2%
職業	会社員 52% パート 16% 専業主婦(夫) 15%	無職 50% 自営業 10% 専業主婦(夫) 22%
自動車運転免許証	所持している 80% 所持していない 19% 返納予定 1%	所持している 34% 所持していない 40% 返納済み 17% 返納予定 8%

※1 年代、世帯構成、職業については、上位3位までの回答を記載しています。
 ※2 端数処理等の関係上、割合欄(%)の計が100%とならない場合があります。

3 運行概要(案)

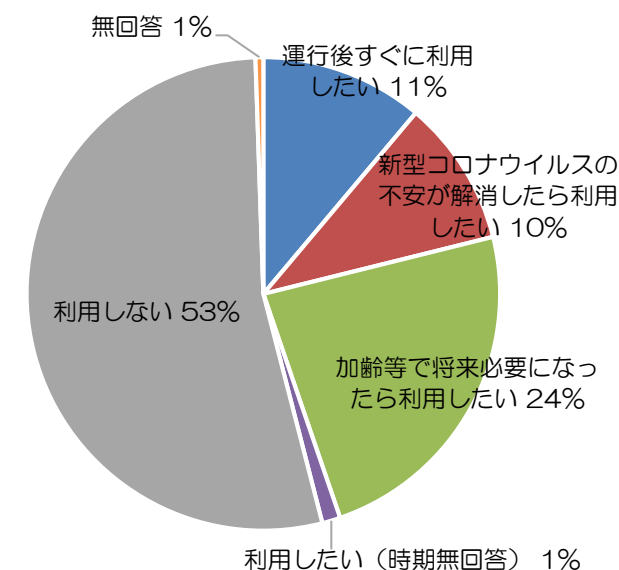


運行概要	
運行車両	ワゴン車(運転手含む10人乗り) 1台で運行
運行時間	午前8時30分~午後5時台 (午後2時30分から午後4時まで運休)
運行日数等	週5日 1日13便(約35分間隔)程度
運賃	220円(シルバーパス使用不可)
その他	反時計回りで運行し、祖師ヶ谷大蔵駅を起点に、商店街や砦まちづくりセンター、区立大蔵地区会館、総合運動場等を経由します。

4 アンケート調査結果

(1) 利用意向

利用意向		回答票数
利用したい	運行後すぐ	125票
	新型コロナウイルスの不安が解消したら	112票
	加齢等で将来必要になったら	265票
	時期無回答	14票
利用しない		600票
無回答		6票
合計		1,122票



(2) 利用頻度

【平日】

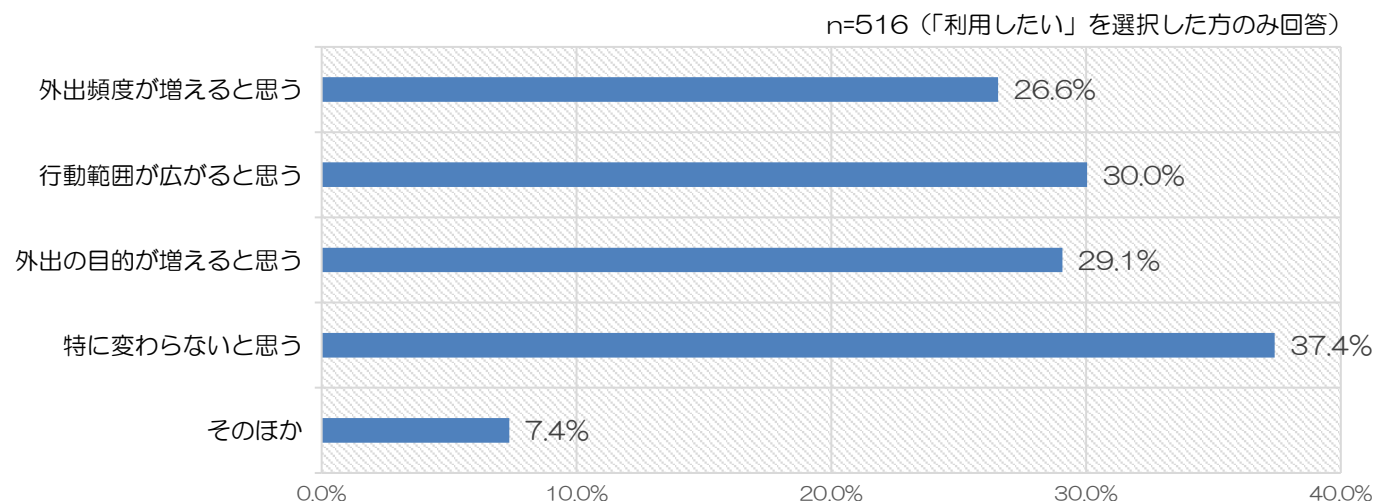
利用目的	買い物	通院	その他		
回答票数	193票	88票	141票		
利用頻度	週に	1日	29%	15%	23%
		2日	39%	5%	18%
		3日	13%	1%	13%
	月に	4日	2%	1%	2%
		5日	3%	0%	3%
		1日	5%	56%	17%
月に	2日	6%	22%	21%	
	3日	3%	1%	2%	

【土休日】

利用目的	買い物	通院	その他		
回答票数	66票	9票	94票		
利用頻度	週に	1日	23%	11%	20%
		2日	3%	11%	2%
	月に	1日	18%	44%	23%
		2日	38%	11%	48%
		3日	18%	22%	6%

※端数処理の関係上、割合欄(%)の計が100%とならない場合があります。

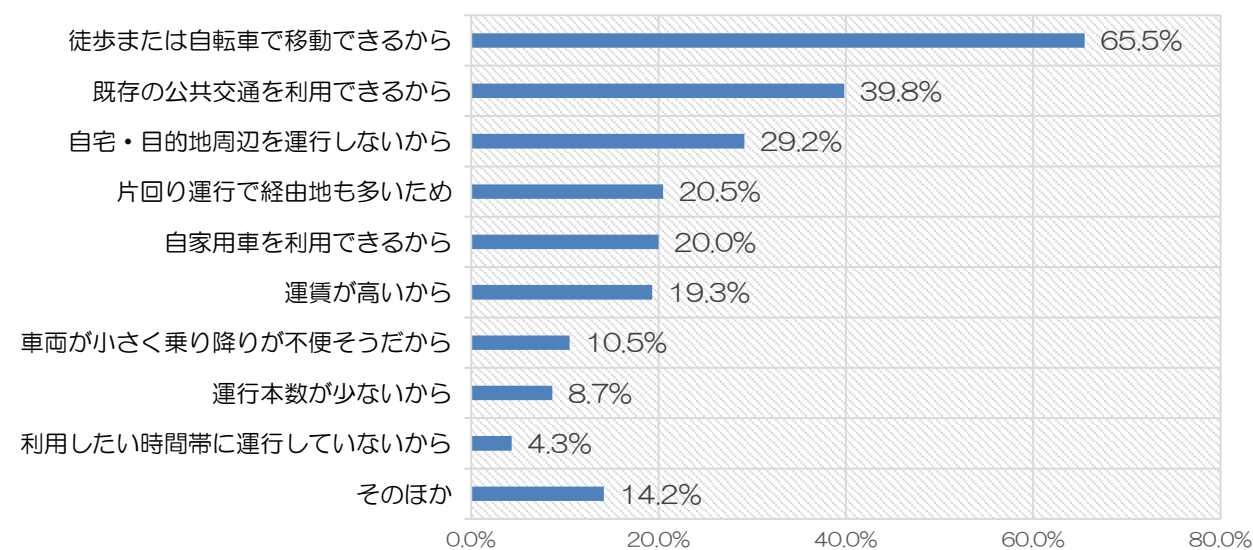
(3) コミュニティ交通の運行による日常の外出や行動範囲の変化(※複数回答)



※複数回答のため、割合(%)の合計は100%を超えます。

(4) コミュニティ交通を利用しない理由 (※複数回答)

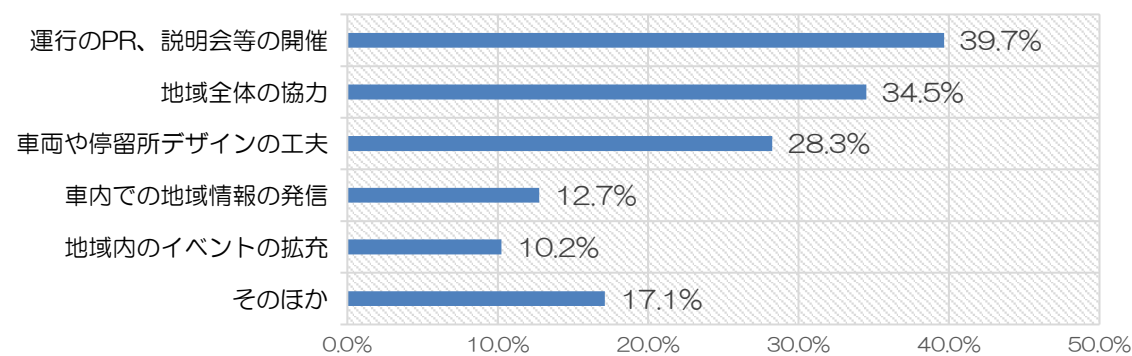
n=600 (「利用しない」を選択した方のみ回答)



※複数回答のため、割合 (%) の合計は100%を超えます。

(5) コミュニティ交通が運行された場合、より多くの方にご利用いただくために大切だと思うこと (※複数回答)

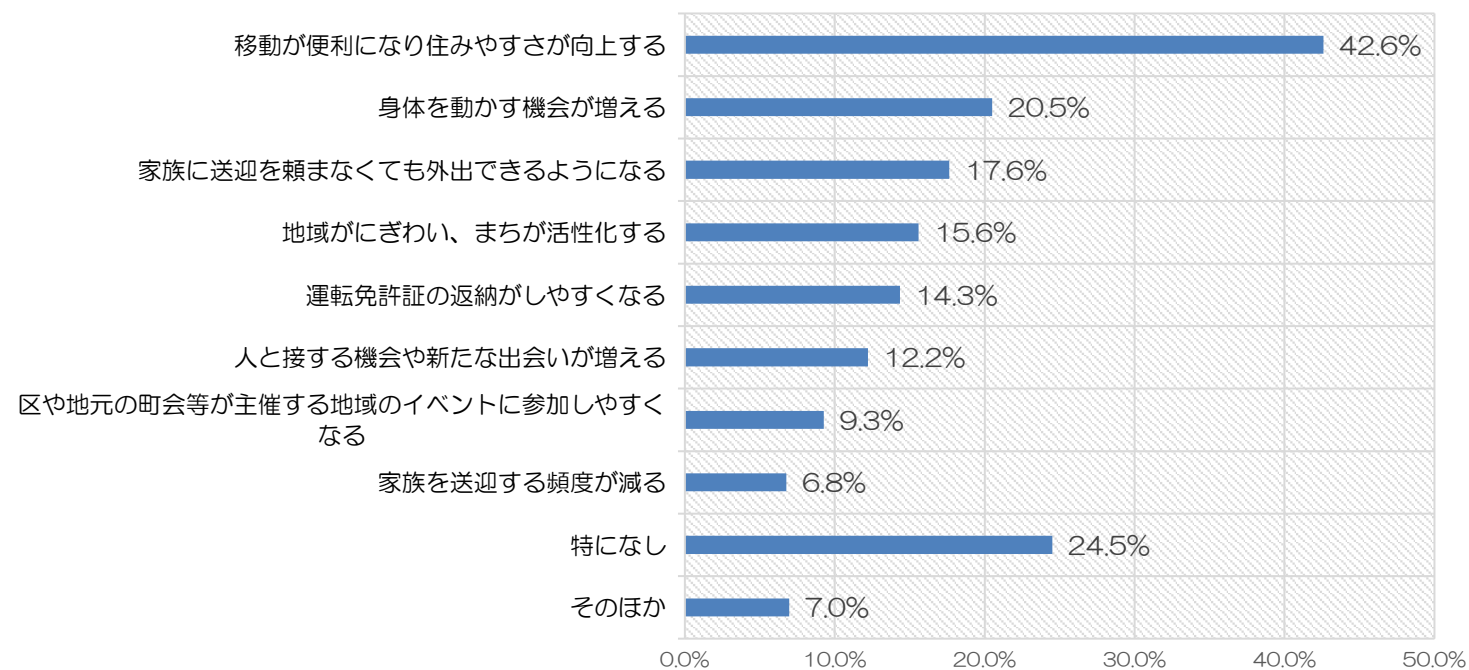
n=1122



※複数回答のため、割合 (%) の合計は100%を超えます。

(6) コミュニティ交通が運行されることによる、期待する効果 (※複数回答)

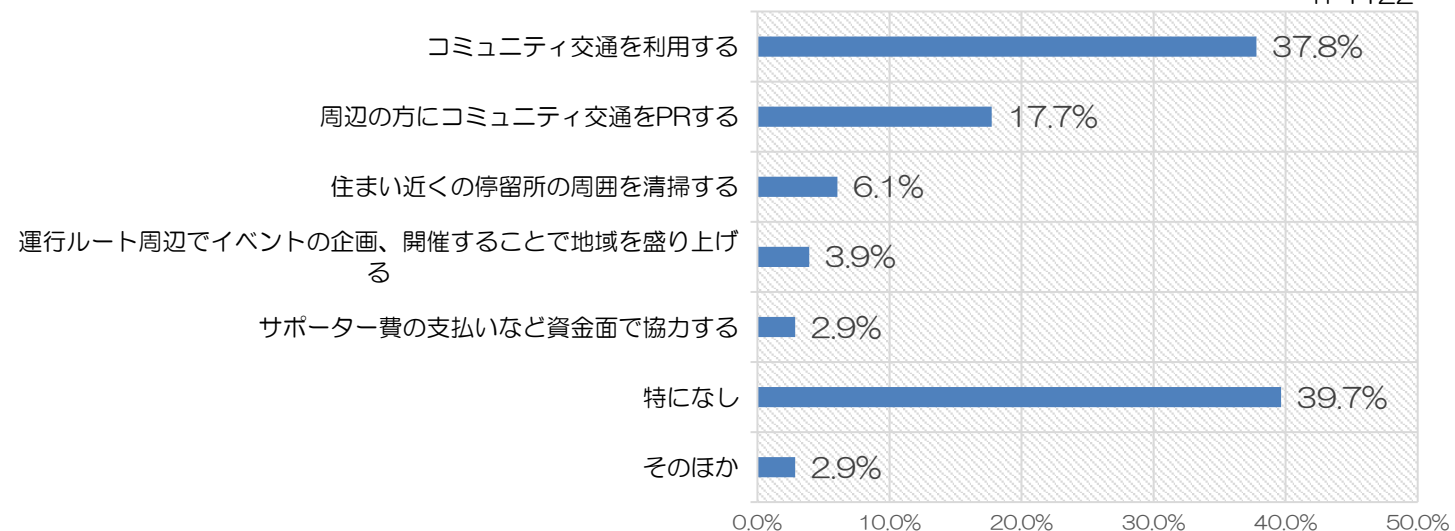
n=1122



※複数回答のため、割合 (%) の合計は100%を超えます。

(7) あなたが地域のサポーターとして、コミュニティ交通の運行に協力できると思うこと (※複数回答)

n=1122



※複数回答のため、割合 (%) の合計は100%を超えます。

(8) 新型コロナウイルスの発生を受け、公共交通機関の利用頻度はどのように変わると思うか

選択肢	回答票数
以前と利用頻度は変わらないと思う	472 票
以前よりも利用頻度は減ると思う	509 票
以前よりも利用頻度は増えると思う	45 票
その他	19 票
無回答	77 票
計	1,122 票

